【女子】

今大会も現在県内大会21連覇、141連勝中、まさに8年近く県内無敵を誇る浜松開誠館の総合力が今年も例年以上に群を抜いている。そのような状況の中でも各地区予選王者と昨年の県大会上位チームが何とか女王に一泡吹かそうと必死に追いすがる展開が予想される。

左上のブロックは浜松開誠館の独壇場となるであろう。他チームはまず浜松開誠館と戦うところまで勝ち上がりたい、相手を慌てさせたい、そして何か次につながるものを掴みたいと思って戦うことになるだろう。

現在大会6連覇中の**浜松開誠館**はウインターカップ2回戦で連覇を達成した京都精華学園と対戦、敗れはしたものの決勝での岐阜女子を除けば全国王者を一番苦しめたチームと言える。その岐阜女子にも東海総体では初勝利を飾っているだけにウインターのスタメン3人残る今年の布陣は全国トップレベルの戦力と言っても過言ではない。中心となるのが U16アジア選手権で日の丸を背負った静岡県の至宝・後藤音羽。その京都精華学園戦では代わる代わる出場する規格外の留学生相手にオフェンスでは一歩も引かない力強い攻めを見せた。特に第3Qに相手が見せた留学生とU18日本代表の八木が仕掛けたダブルチームで挟み寄る執拗なディフェンスにもシュートの1歩目で身体を十分に入れてシリンダーポジションを制して柔らかな膝を使ってゴールに捻じ込むシーンはさらに高いレベルでの才能を感じさせた。本人はインタビューでも謙遜もあるだろうが常々守備への課題を挙げるがボールマンもマークマンも見逃さない身体を張ったディフェンスは日本代表の名に恥じないレベルにある。全国王者との激闘で得たさらなるハイレベルなテクニックを今大会でも見せて欲しい。主将・井口姫愛はウインター2試合共チーム最多得点を記録し合計44得点、特筆されるのはそのうちの 96%にあたる42得点が3P、もはや驚愕のレベルである。京都精華学園戦でも8本を決め、相手選手が苦笑するシーンも見られた。3Pの精度や鋭いドライブはもちろん、大事な場面での勝負強さも天下一品、常に闘志を前面に表しチームの士気を鼓舞する大切な役回りも担う。1年生**前川桃花**もウインター・慶進戦で開始直後に放った3Pに象徴される空中砲も武器ではあるが、基本に忠実かつ一歩先を制するディフェンスが真骨頂、是非ディフェンスに注目して欲しい選手である。他にも、京都精華学園戦で途中出場しグッドパスで3アシストを記録、自らも3P やポストで攻める**八重柏憂奈**、粘り強いディフェンスでチームを下支え、ウインターでも32分のプレイングタイムを与えられて実践経験を積んだ**山本さくら**、177㎝の長身を生かしてリバウンドを支配する**小幡美空**、東海リーグでの活躍が印象深い**杉山実子**、ウインターでも出場機会を与えられた**大久保愛姫・大杉光・岡田美紀・坪田真由美・橋本瑠那**、県選抜選手として東海国体にも出場した**持田莉子・織田百々花・山本爽未・鈴木結愛**など有望な戦力を挙げれば枚挙に暇がない。粘り強いディフェンスにチェンジングを交えながら攻撃では人もボールも機能的に動くバスケットで一つ一つ勝利を積み重ね、まずは県制覇そして県勢22年ぶりとなる東海制覇をも射程圏内にとらえる。

その常勝女王に初戦で挑戦するのは14年ぶりの出場となる**富士**。長年人数不足に悩まされていたが、2年生8人・1年生も8人計16人の大所帯となり、時間が限られる中での練習にもバリエーションが出てきた成果と言える。大黒柱の**望月さな**は恵まれた身長と運動能力で幅広いプレーをこなすオールラウンダー。**渡邉香恋・渡邉麻琳**はゲームメイクしながら相手の中心選手を抑えるディフェンスが取り柄。全国に名を馳せる強豪相手に自分たちが信じて打ち込んだバスケットがどこまで通じるか、全力で試して欲しい。

浜松開誠館への挑戦権を賭けて2回戦での対戦が予想される「三島南－浜松南」も2回戦注目のカードである。

三島南は予選のたびに順位を上げて今回東部3位で大会に臨む。入学当初から類まれなバスケセンスとテクニックで注目を浴びる**辻村明日香**が怪我から復帰し本調子を見せ始めて快進撃、予選でも市立沼津に敗れた1敗のみ。このチームで特筆されるのは厚い選手層とスピード主体の攻撃、そして辻村の個人技。昨年も展望内で「東部四天王」の一人と謳わせてもらったが、今年も勝亦・河谷（市立沼津）、向井（沼津商業）とともに新・四天王の中心となる逸材、チームの総合力だけでなく彼女のプレーが鉄壁のディフェンスを誇る浜松開誠館にどこまで通用するか、今から楽しみである。

昨年3大大会すべてベスト8、安定した成績を続ける**浜松南**は西部新人で浜松学院に準決勝で惜敗したものの翌日浜松商業に快勝、3位で県新人に臨む。2年連続で県協会優秀選手となった忠内という絶対的エースが抜け、さらに新チームの始動が他の公立高校より遅れたことは事実だが、実戦経験を重ねた選手が多く残り、粘り強いディフェンスとウイングから鋭く切れ込むドライブ主体のバスケは今年も健在である。3P やドライブを武器に1年時から活躍する新司令塔・**山村梨心**、オールラウンドな攻撃の組み立てが際立つ長身選手・169㎝**若林鈴音**、ゴール下の得点源**吉田遥**、大柄とは言えない163㎝の身長ではあるが果敢にゴール下へ飛び込んでインサイドに挑み、浜松商業戦ではチーム最多の20得点を挙げて勝利を呼び寄せるなど名前の由来のごとく「想いが来る」プレーが光る**輿水想来**、自身をトップギアに持っていくのが早く、立て続けに入る3P が魅力の国体選手・**新林芽依**など恵まれた戦力を使ってウインター県予選で敗れた浜松開誠館との再戦にたどり着きたい。

このブロックの注目選手として、**望月優那《2年生》・小泉美奈子・望月優那《1年生》・大出柚葉・小川心優**（静岡女子）、**佐藤吏璃子・丸山真央・須山心穏・山下美優**（静岡大成）、**鈴木沙綾・中島心遥・萩原葵・五十嵐愛生・鈴木楓花**（磐田北）、**高橋倖菜・高橋詠美・辻玲奈・五味優花・横山わかば**（浜松日体）、**勝部真菜・御手洗寿奈・江本瑠奈・後藤由奈・深瀬柚月**（三島南）、**鷹野瑠美・島田光奈**（浜松南）などを挙げたい。

左下のブロックは初めて中部新人を制した東海大静岡翔洋と前回大会4位・県総体では3位を勝ち取り初の東海総体出場・ウインター県予選でも3位に入り今年こそ10年ぶりの東海新人出場を目指す浜松聖星の一騎打ちとなる可能性が高い。

東海大静岡翔洋は県総体ベスト32、ウインター県予選ベスト16と順位を上げて今大会第4シードとして初の東海新人出場を狙う。秋までチームに貢献した3年生の船山・遠藤は引退したが、中部新人決勝を見ると指導者や先輩から教え込まれたことがチーム内に浸透している印象を受けた。チーム全員が足を使って走るバスケを展開しどこからでも得点を奪えるのが強みである。1年生キャプテン・173㎝稲葉叶のプレーを初めて見た時、スクリーンへの対応・フロート位置でのステップ・指さしのナンバーコールなどが先輩である船山の影響を色濃く感じた。基本に忠実、プレーを先読みした動き、体勢の低い鍛えられたディフェンス、すでに完成度の高い選手ではあるがさらなる可能性を感じさせた。攻撃ではエルボー位置からワンフェイク入れてのドライブかと思わせておいて切れ込んだ味方にパスを出してアシストを演出、守りではボールマンもマークマンも意識しながら相手に暗黙のプレッシャーを与える。このような貢献度は数字には表れにくいが攻守に関わらずオフボール時の動きこそ注目して欲しい選手である。その他にも、飛び込みのリバウンドに活路を見出す一見陽菜、カットインとボールキャッチのタイミングが絶妙の**星合汐凪**、中部新人決勝で第1Qだけて3P4本を決めて相手の意気も戦意も奪い取った**森**

理桃子、空いたスペースを見逃さず縦に鋭いドライブを展開する**青島由來**、プレッシャーディフェンスの申し子・スイッチした相手にも素早く寄って突破口を封じる**森理彩子**、中部決勝で途中出場・第3Qから立て続けにシュートを9本決めた花枝咲和など一人一人の役割を果たしながらアグレッシブに攻めてまずは初の県新人4強を勝ち取りたい。

対する西部新人準優勝・**浜松聖星**は3年間主力としてチームに貢献した3年生が引退したが、ウインター県予選では下級生を積極的に起用して新陳代謝を図る姿勢が見られた。今年のチームは昨年の大滝・内山のような図抜けたエースはいないが個々に高い能力を持つ選手が多く、機動力で相手のディフェンスをかき乱し、フリーを作って攻めるバスケットが特色、リーダーシップを持ち合わせ、考えながらバスケットが出来る「心」の部分と高精度の3Pなど「技」を併せ持つ主将・**大竹花**を中心に、高い1on1能力でペイントエリアに攻め込む**高下加奈・中西杏奈**、冷静沈着なプレーで安定したシュート力を誇る**サリッチ愛奈**、県武道館のメインコートで身体を張ったディフェンスを披露した**三井亜利華**、同じくウインター県予選準々決勝で途中出場して得意のジャンプシュートを放った**長谷川万桜**などの山椒は小粒だがピリッと辛いメンバーが集まっている。まだ完全なる新チームが指導して2ヶ月余り、ここからタイムシェアをしながら多くの選手に実践経験を与えて全員にオールラウンドなプレーを習得させて徹底させていくであろう。昨年は決勝リーグに進みながらも3位決定戦をインフルエンザの影響で棄権、涙をのんだ。まずはブロック決勝を制して決勝リーグ進出、そして東海新人出場を狙う。

浜松聖星の初戦相手は初出場・**桐陽**。バスケ強豪校・飛龍と姉妹校で同じ学校法人沼津学園。こちらも長年深刻な部員不足に悩んでいて出場辞退や合同チームでの出場も経験した。今年度ポテンシャルの高い新入生が多く入部、伸び伸び楽しみながらプレーをするのが特徴である。エースは2年生の司令塔・**遠藤優奈**、小柄ながら相手ディフェンスをかいくぐってのドライブや瞬時に放つ3Pで得点を稼ぎ、献身的なディフェンスも魅力。1年生では高いオフェンス力を武器にインサイドで活躍する**芹澤もか**、長い手足を生かしたリバウンドとパスセンスを武器に攻守でチームに貢献する**河谷唯**、そしてチームをまとめる主将の**薄井衣緒菜**は適切な指示とチームを鼓舞する声援で精神的支柱となるムードメーカー。地区予選で6勝した勢いそのままで県新人へ走り抜ける。

今回の地区予選では、初めて全地区で男女11位決定戦が行われた。今までは県大会出場が10枠しかない場合は11位決定戦を行わない地区もあったが、今回は1試合でも多く選手に試合の機会を与えたい、そして4月に行われる地区総体の第11・12シードを確定させたいという運営側の配慮からと推測する。地区によっては県総体・県新人最終日の11位決定戦が「県大会出場最後の1枠決定戦」として注目を浴びるが、今大会では男女合わせて推薦チーム（地区予選免除）が3チーム生まれたため、西部女子のみが「最後の県切符決定戦」となった。64番目にそれを掴んだのが**浜松北**。常葉大菊川との一戦、司令塔・**河村南美**や中盤の**永見みずほ**などの活躍で4年連続の県切符をつかんだ。球際に必死に食らいつき攻撃の機会を増やして得点を重ねるチーム、全力で県新人に臨むとともに西部総体では一つでも上の順位で県総体を目指して欲しい。

このブロックの注目選手として、**水鳥心羽・中嶋夢月・村松奈々・坪井雪羽・山口琴乃香**（富士宮東）、**山田芽以・増田悠伽・中山志緒梨・杉山花音・落合美雨**（静岡商業）、**彦坂好胡・飯尾心海・内山夏緒**（浜松北）、**芝本有紗・西浦李虹・山田彩耶・山崎実琉愛・小山愛加**（浜松東）、**藤倉華音・田村悠香・大竹里奈・藤倉琴音**（加藤学園）、**深間菜月・岡部玲那**（浜松聖星）などを挙げたい。

右上のブロックは東部新人10連覇を達成した市立沼津と中部新人準優勝の常葉大常葉が決勝リー

グ進出を賭けて戦う図式が予想される。「市立沼津－常葉」と聞いただけでもバスケファンにとっては垂涎（すいえん）の好カードである。

市立沼津は昨年3大大会すべてで準優勝、女王・浜松開誠館に最も肉薄したチームである。東海大会や東海リーグにも出場し、東海地区の強豪と互角に渡り合える実力を備えている。遠藤・一藤木など3年間を支えた主力は引退したが、アンダーカテゴリー時代からキャリアを持つ選手も多く残っていて今年も楽しみな戦力である。中心となるのが**河谷真矢**と**勝亦麻結**。県協会優秀選手・178㎝河谷は身体能力が高く、跳躍力と長いウイングスパンを利したリバウンドが特色。リバウンド支配率も高いので周りも安心してタフショットを打ち、チームに相乗効果を生み出す。東部新人決勝でも30得点を超える大活躍で勝利の女神となった。勝亦はスピードを生かしたドライブが持ち味、ディフェンスでは大型選手相手にも身を粉にして献身的なディフェンスが出来るプレーヤーである。パスランや鋭いドライブ、力強いリバウンドで得点につなげて、粘り強いディフェンスで守り切るチームのスタイルは変わらないが、今年は高さもあるのが最大の特徴、河谷以外にも**野田心・上原美桜・植田亜湖・竹ノ内菜優・外川あこ**など170㎝代の長身選手が揃い、ポストプレーも随所に活用する。特に野田は昨年度のU15県協会優秀選手、夏には国体選手にも選ばれるなど輝かしい勲章を持つ選手、ボールハンドリングが天下一品で上手の手から水が漏れることもない素晴らしいスキルを持つ。同じく県選抜選手の上原も中学時代に野田と同じクラブチームで活躍、息の合ったコンビネーションを見せる。他にもドライブから広めにステップを踏んでのジャンプシュートを得意とする米内心菜、小柄ながら強めにプレスをかける守備が魅力の**梅原萌々伽**、3P シューター**杉山萌唯**、粘り強いディフェンスの**當房心瑠**など選手層は県内屈指の厚さを誇る。東部新人はウインター県予選で圧倒した沼津商業に1点差を守り切る薄氷の勝利であったが、県新人開幕に再度焦点を合わせて調整してくるはず、まずは2年連続の東海新人出場を確実にし、さらに15年ぶりの優勝を目指して欲しい。

常葉大常葉は前回大会5位、続く県総体でも6位に入ったが、ウインター県予選では静岡東に敗れベスト16に終わった。伝統の常葉バスケを継承する佐野新監督の指導のもと、ステイローディフェンスを信条にオールコートまんつーでの堅守速攻を展開して市立沼津を倒し3大会ぶりの東海新人出場を狙う。中心となるは**伊藤亜莉沙**。ステイローで培った柔軟な下半身を使ってジャンプ、高い位置でボールを捕らえて滞空時間の長いリバウンドが特徴、セカンドチャンスも逃さない。近年目に付いた平面的なバスケットを打ち破り長距離砲も打てるのが中盤の**森輝月**、ディフェンスでは果敢にブロックを試みブレイクの起点ともなっている。また森とともに度胸満点の3P を放つ**大坂澪**も見逃せない。177㎝・**河島唯奈**は攻守に見るべきプレーが多い選手、攻では正面に切れ込むドライブやリバースターンからのシュート、守ではインサイドで相手ビッグマンに脚を入れて初動を抑えるなど冴え渡るプレーに注目、大会最多13回の優勝を経て受け継がれる伝統のバスケを継承しながらも新しい色を入れて、新生・常葉のスタートを切って欲しい。

このブロックの**下田**も学校創立16年目で県新人初出場を果たした。統合前の前身校、下田北・下田南時代も出場経験がなく、今回が正真正銘の初陣となる。常にボールマンとマークマンに素早く対応するディフェンスをベースに、ランアンドガンとパス回しでオフェンスを形成するスタイル、さらには動画やICTを活用しての情報収集やデータ分析も積極的に取り入れた最先端バスケを導入している。リバウンドを絡めた攻守の要は**川端穂積**と**神尾美月**の正副キャプテン、司令塔・**髙橋夢花**は151㎝と小柄ながら広い視野でゲームメイクを行い、オンボールディフェンスのプレッシャーが取り柄となる。ウイング位置の**森心明**も同じく151㎝、ドライブや3Pと得意として守備では積極的なパスカットでターンオーバーを誘発させて流れを引き寄せる。身長がない分、足を止めないバスケを心掛けて西部の強豪・浜松商業に

挑む。

このブロックの注目選手として、**塩崎日向・清水佐和・遠藤陽菜・菅野陽向・伊藤栞奈**（清水南）、**髙橋弥恵・石濱怜・鈴木萌花・伊藤かすみ・山田暖々果**（浜松市立）、**見原楓七・依田愛巳・モア綺蘭・後藤さつき・金子来音・江川凪**（沼津中央）、**原田りの・小関若菜・山田千恵・大塲優菜・矢野有彩・三浦綾夏**（浜松商業）、**高橋乃愛・竹内結衣・谷川侑来・鈴木湖遥・平松果歩**（浜松湖東）、**中野菊花・池田愛央衣・須田理子・室伏理緒**（常葉大常葉）などを挙げたい。

右下のブロックは、県総体4位・ウインター県予選3位の実績を誇る西部新人覇者・浜松学院と10年来東部予選無敵の市立沼津を決勝で土俵際徳俵まで追い詰めた東部2位・沼津商業がブロック決勝で相まみえる公算が高い。それを阻止すべく2回戦で両チームと戦う可能性が高いのが、前回3位で2大会連続の東海新人出場を果たした**藤枝順心**と新チームで挑んだウインター県予選で初のベスト8入りを果たした**静岡東**の中部勢が追いかける展開となる。

浜松学院はウインター県予選準々決勝で藤枝順心を返り討ちにし、続く準決勝でも浜松開誠館の牙城に迫る戦いで大善戦、3位を勝ち取った。新チームの大黒柱は173㎝**ワネケジ・ジュリエット・杏奈**。長身を生かしたインサイドプレーだけでなく、中に切れ込んでのミートシュートやドライブなど多岐に渡る攻撃が持ち味、さらにはフリースローの成功率が高く、低空飛行でサクっとリングに吸い込まれるボールの軌道は特徴的である。シューター・足立珊那は攻守の要、3P やドライブに目が行きがちだがミドルシュートも高確率に決め、西部新人決勝では23得点を挙げた。175㎝**髙山璃世**はワネケジとともにツインタワーでインサイドを制覇する。175㎝**篠原美咲**・173㎝**荒井香実**・170㎝**太田綾夢**・170㎝**黒野梨緒**など、ワネケジや高山も含めて170㎝級の長身選手が多いのもチームの強みである。中盤や外回りに目を移せば攻撃から守りへのトランジションの要となり状況に応じて適切なジャッジが出来るインテリジェンスプレーヤー・**相川樹由**やディフェンスのスペシャリストとしてチームを幾度となく窮地から救った**伊藤帆南**、新チームからスタメンに抜擢された**田開理世**など高さと能力を兼ね備えた完成度の高いチーム、堅守でリズムを組み立てて個々の能力を生かした攻撃を展開するバスケットでまずは2大会ぶりの東海新人出場、そして浜松開誠館を破った平成27年度以来の優勝を目指す。

沼津商業は過去にも地区予選で市立沼津をオーバータイムまで追い込んだこともあったが、今回も1点差を詰め切れず地区初優勝という大魚を逃した。この悔しさをバネに県新人に臨み、初の4強・東海新人出場を狙う。屋台骨としてチームを支えた鈴木の抜けた穴は大きすぎるが、速いトランジションが特徴的なフォワード陣の破壊力は抜群である。**庄司奈納**は試合中常に声を出しチームを鼓舞、ポジション移動も的確でドライブの突破力もある。司令塔・**向井京**はパスのバリエーションが多彩、少し引き気味で攻めることで相手もパスなのかドライブなのかまたはディープスリーなのか判断が遅れるシーンが目に付いた。先述したが私はこの選手の技術を非常に高く評価する。**梅原優月**は勝負の駆け引きに長ける選手、1on1でもジャブステップやロッカーモーション、フェイクを使いながら巧みに相手を抜いていく技巧派である。**稲田楓羽**はウインター県予選準々決勝・終盤に放った綺麗な放物線を描きながらリングに吸い込まれた3P が印象的、長距離砲だけなく接触をもいとわない激しいディフェンスが強み。鈴木の穴を埋めるのは170㎝**白井碧**であろう。ウインター県予選で途中出場ながら聖地・県武道館のコートを踏んだ貴重な経験と鈴木からの尊い教えを生かしてゴール下の砦となって責任を果たして欲しい。シックスマンとしてはハードワークに定評がある**臼井千夏**が控えることも心強い。何度も書いているが沼商と言えばチームワーク、しかしここからさらに上に行くためにはその次の一歩が必要、全員ディフェンスからブレイクにつなげて攻守にスピードを重視するバスケットで、まずはブロック決勝を突破することだけを考え

てプレーして欲しい。

　このブロックの注目選手として、**小池紫寿・石田妃茉里・増井弥空・宮住美桃・清水咲希・和田一茉莉**(藤枝順心)、**梅本理世・佐々優華・河合桜・若山紗羽・三浦羽菜**(静岡)、**栗田志織・小泉芽生・山本寧々・佐藤蓮乃・小柳夏実・伊藤琉那**(静岡東)、**平野ひまり・飯田綾夏・石田琴音・窪田陽菜**(三島北)、**鈴木歩美・中村良蕾・片岡瑞希・木下花翠**(島田商業)、**廻久実子・小久保美波・杉田佳奈美・石垣栞**(浜松湖南)などを挙げたい。